

# 稲作情報 No.14

## 高温注意(水稻・大豆)

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会〔作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会〕

水稻の早生品種については、**平年よりも早い出穂**となっており、**出穂後、高温が続いています**。  
大豆は開花期となっており、今後の乾燥ストレスは収量減少につながります。  
気象庁によると、今後高温が続く傾向で、特に8月以降、かなり高い気温となる見込みです。  
熱中症に注意しながら、高温対策を実施しましょう。

### 【水稻】

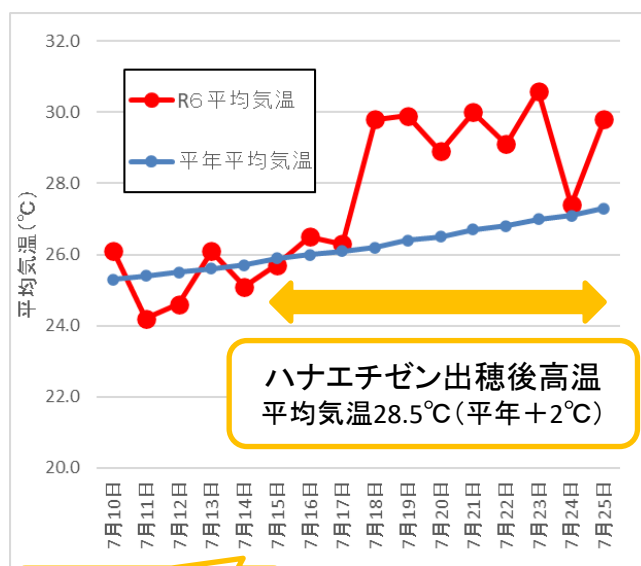
**出穂期前後は水を切らさない**ようにしましょう

**こまめな間断通水**（入水⇒自然落水の繰り返し）で飽水状態（水田内の溝や足跡に水が溜まっている状態）をなるべく維持しましょう

### 【大豆】

圃場が乾燥した場合は、**畝間灌水**を実施しましょう（畝間灌水の留意点は、稲作情報No13参照）

### ○最近の気象(福井市気象台データ)



7/14 ハナ出穂期

### ○高温の情報(気象庁HP 7月26日時点)

1週目の予報(日別)								2週目の予報(5日間平均)				
26	27	28	29	30	31	1		2	3	4	5	6
金	土	日	月	火	水	木		金	土	日	月	火
							(31~	(1~	(2~	(3~	(4~	
							4日)	5日)	6日)	7日)	8日)	
福井												
(最高気温)	当日	36	33	33	32	33	34	35	35	36	36	36
福井												
(最低気温)	当日	26	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26

今後、高温が続く傾向  
特に、8月以降、かなり高い  
気温となる見込み

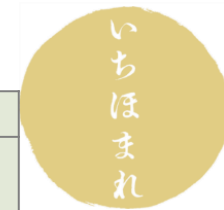


飽水状態



畝間灌水

## いちほまれ 生育ステージ



	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間	
栽培方法 時期	上旬移植 5/2	中旬移植 5/20	上旬移植 5/2	中旬移植 5/19	直播 5/5	中旬移植 5/16	直播 5/10
地点数	1	1	7	7	8	2	1
幼穂形成期	7/6	7/15	7/6	7/17	7/16	7/16	7/19
幼穂形成期 (平年)	7/7	7/14	7/6	7/13	7/15	7/14	7/23
出穂期	-	-	-	-	-	-	-
出穂期 (平年)	7/31	8/4	7/29	8/4	8/6	8/7	8/12

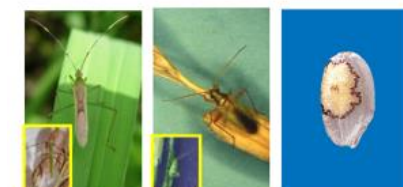
## ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育ステージ

品種		ハナエチゼン			コシヒカリ					あきさかり			
調査場所		農業 試験場	JA坂井 農場	現地	農業 試験場	JA坂井農場		現地（慣行栽培）		農業 試験場		JA坂井 農場	現地
栽培方法 移植・播種時期		移植 5/2	移植 5/1	移植 4/28	移植 5/20	移植 5/15	直播 5/7	移植 5/18	直播 5/3	移植 5/2	移植 5/20	移植 5/15	移植 5/15
地点数		1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	3
幼穂 形成 期	本年	6/26	6/27	6/24	7/12	7/12	-	7/13	7/17	7/7	7/16	7/16	7/14
	平年	6/27	6/27	6/27	7/12	7/10	7/15	7/11	7/14	7/9	7/14	7/14	7/12
出穂 期	本年	7/14	7/16	7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	7/18	7/16	7/18	8/2	8/1	8/6	8/1	8/4	8/1	8/4	8/5	8/3

(留意点) - はデータなし、※は一部データ欠損により数字が変更される場合があります

○ 斑点米カメムシ類の注意報が発令中！

いちほまれ・コシヒカリ・あきさかりは、8月初旬に出穂期を迎える見込みです。  
斑点米カメムシ類は依然として多い状況です。  
斑点米カメムシ類および他病害虫の防除は適期に実施しましょう

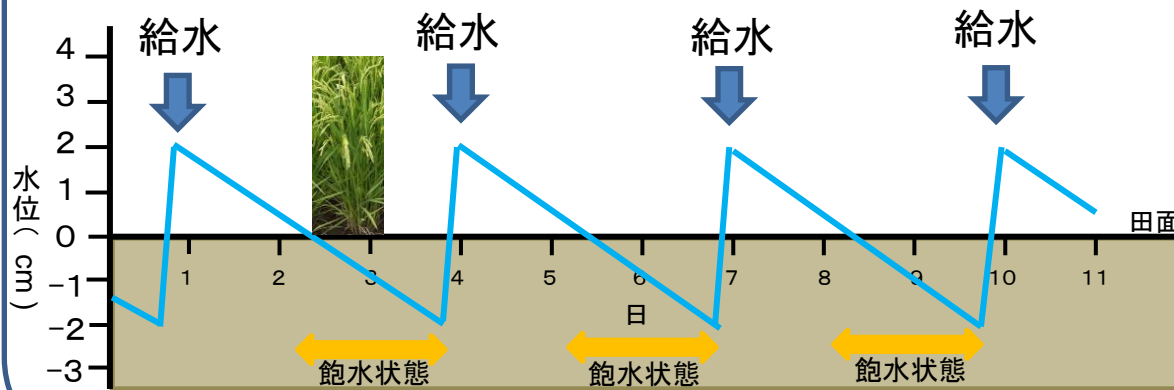


クモヘリカメムシ アカスジカスミカメ 斑点米カメムシ類による着色粒

# ○水稻の今後の水管理について

- ・ 出穂期前後は水を切らさない
- ・ こまめな間断通水を実施し、飽水状態をなるべく維持する（水を長期間貯めない、長期間干さない）
- ・ 長期的な降雨や水持ちの良い圃場で、長期間湛水となる場合は、強制落水し、積極的な水の入れ替えを検討する
- ・ フェーンによる高温の際には、深水管理を実施し、フェーンが過ぎたら強制落水し、水を入れ替える（留意点）
- ・ 水不足により、輪番制となった場合は、入水を優先する。
- ・ 圃場の水の状態は入水口周辺だけでなく、排水口周辺も確認する。
- ・ 中干しが十分でなく、土壌が軟弱な圃場は、飽水状態の期間を少し長くとりなどして、徐々に地面を固める（急に強く干すことや、収穫前に早く落水することは避ける）

## ○こまめな間断通水のイメージ



## ○飽水状態のイメージ

水田内の溝や足跡に水が残る程度まで水位が減少してから給水する

